

2019年4月1日

2019年度予算について

青山学院財務部

青山学院の2019年度（以下、当年度）資金収支予算及び事業活動収支予算は、予算会議の議を経て、収益事業部予算とともに、本年3月28日開催の評議員会、引き続き開催の理事会で承認されました。

当年度の予算編成に先だち、2018年7月2日に理事長名で「2019年度予算編成方針」を各設置学校及び法人各部署に発信しました。具体的には、「①「AOYAMA VISION」の実現に向けた施策の推進、②グローバル化の推進と教育の質的向上、③既存予算の抜本的見直し、④万代基金（AOYAMA VISION 募金等）の推進、⑤寄付金、入学検定料、受託事業収入の拡大」などを支出予算、収入予算の編成方針とし、これらにより教育・研究の充実と財政基盤の強化を図ることを基本方針とするものです。

当年度予算の収入面では、学生生徒等納付金について、大学の学費改定（2016年度に改定し4年目）効果やコミュニティ人間科学部開設等の増額要素があるものの、女子短期大学の新生募集停止等による学生数減少により減収を見込んでいます。寄付金については万代基金の強化に引き続き取り組んでまいります。

一方支出面では、「AOYAMA VISION」の実現に向けた施策、教研系システム基幹ネットワーク更改費用を予算に計上いたしました。また各設置学校、法人各部署は支出予算の目的を検証し、抜本的な見直しを行うことで、新たな施策のための予算を織り込んでおります。

当年度実施予定の主な支出項目としては、

- ① 青山キャンパス再開発の一環として大学新図書館（仮称）建築計画設計・調査費用、中等部校舎建替工事費用（第三期）
- ② 教研系システム基幹ネットワーク更改費用
- ③ 青山キャンパス受変電設備更新工事費用
- ④ 大規模天井落下防止対策工事費用、ブロック塀改修工事費用
- ⑤ 中等部・高等部グラウンド人工芝化工事費用
- ⑥ 「AOYAMA VISION」の実現に向けた施策のための費用

等があります。

以上